

2022年7月24日

“安息日の主” (The Lord of the Sabbath)

前奏

鈴木義兄

賛美歌58番

かみよみまえに ひれふしいのる われらのねがい うけいれたまえ
え うけいれたまえ

あまつめぐみを こころにみたし み名のさかえを うたわせたまえ
え うたわせたまえ

たえにとうとき すくいをしめす いのちのことば さとらせたまえ
え さとらせたまえ

うきをなぐさめ やめるをいやし つみのなわめを ときすてたまえ
え ときすてたまえ

み名をしるもの 主をこそたのめ たずねまつらば みすてたまわ
じ みすてたまわじ

聖書拝読 使徒行伝12章6-17節

説教

“御使いによる救出”

Scroggins 由紀牧師

後奏

鈴木義兄

“それだから人の子は、安息日にもまた主なのである、” (マルコによる福音書章2章29節)

この週末は結婚記念日だったので、久しぶりに郊外に行きました。あいにく天気はあまりよくありませんでしたが、緑の多い郊外は市内とは全く別な安息日、という雰囲気になっていました。同じように学生時代を過ごしたシアトルも、大学の近くは日曜日は本当に静かだったことを思い出しました。

マルコ書2章において、主イエスは安息日は人のためである、とはっきりといわれ、人の子(ご自身)は安息日にも主である、といわれました。このところ、インターネットの普及でリモートで仕事ができるなど、便利になりましたが、同時に世界中で今まであった文化が変化しているおり、特にパンデミック以来、ネットに頼る機会がますます増えていきます。しかし実際に人と会っているときや教会で礼拝をしているときに電話をいじっているのはやりすぎでしょう。若い人たちのみならず、大人もネットに依存しすぎているか注意が必要と思います。

安息日をつかさどられる主イエスは、この日が人のためであるといわれました。そのご慈愛に感謝し、礼拝する心を忘れずに過ごしたいものです。

(Yuki Scroggins)

消息

—教会の内外で主の癒しを必要とされている方々のために、また、世界におけるパンデミックが一日も早く終息に導かれるように、またウクライナに平和がもたらされるように祈りましょう。

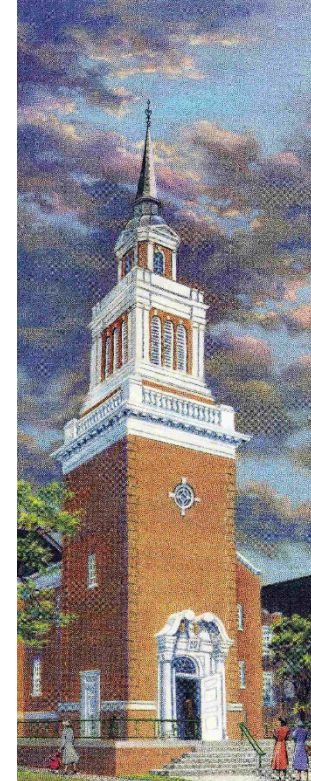
—BA.5という新型コロナの変異株がアメリカでも広まっております。引き続き気を付けてお過ごしください。

お知らせ

—ウクライナの危機に関して、International Ministries では支援を行っております。興味のある方は下記のリンクを通して寄付をしてください。支援金は、ウクライナのパプテスト教会へ送られます。

<https://www.internationalministries.org>

—アメリカでは、パンデミック以来、アジア系住民への差別偏見が問題になっていますが、アジア系であるということで、嫌がらせなどの被害を受けた方は、Stop AAPI Hate のサイトで被害を報告することができます。また、政治的な活動については、AAAJ (Asian American Advancing Justice) などのサイトをチェックされることをお勧めいたします。



週報

第3882号
2022年7月24日

ノースショア パプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org

発行: 2022年7月20日—スショアパプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話: 773-728-4200